

「男女共同参画の視点に立った地域の課題解決」のためのプログラムデザイン

開催時期: 4月末～5月にかけて(GWを除く)、土曜日
14時～16時

【事業名】 私らしいキャリアプランを描く～就活の前に知っておきたい、柔軟にキャリアプランを選択する考え方～

【趣旨】 若者はライフステージが変化しやすい。就職後数年～数十年以内に結婚、出産により働き方や生き方を改めて考える女性が多い。社会はまだ制度を整えている途中である。そこで若者に、女性が社会に出ていくことの必要性、柔軟にその時々々のライフステージに応じて生き方を選択するヒントを得ることができる連続講座を行う。学生が就活を考える前に男女共同参画視点の知識をセンターが提供することで、センターの存在と事業を知ってもらう。

課題

センターの課題として事業に関わる世代が高齢化しており、多様な年代との情報、意見を交える機会が少ない。第5次男女共同参画基本計画においては若者世代主体と連携、次世代に引き継ぐことを取り組むことを事項としてあげている。20代若者のセンターの周知度は良いとは言えない現状がある。一方若者は、性別役割意識の反対が多くみられるものの、親世代からの「女らしく」「男らしく」の考え方の影響を受けている。社会の中でもアンコンシャスバイアスを含む言動がそこでの「当たり前」という社会体験を経て限られた社会の中でのジェンダー意識がつけられる可能性がある。社会の制度が整っていない職場がまだ多く、40.7%の女性が一度仕事をやめ、13.2%が職場に復帰しない現状がある。学生も同じ問題で悩むであろうと考えられる。就活のサポートにおいて男女共同参画視点で長期的視点でキャリアを考える機会は学校主体になっており実際されている報告はほとんどない。

目的

①女性が社会に必要な人材であることを知る②変化していくライフスタイルをイメージし、今の自分が思い描く生き方を実現するために何が大切かを見つめる③柔軟に生き方を選択して生きていくヒントを得る。④ライフスタイルが変わるとき、センターが情報提供・相談等ができることを知ってもらう。

対象

県内の大学2生・キャリアプランを考える学生 主に女性

定員 30名

連携先

県内の各大学のキャリアセンター、就活課、わかジョブ・ふくおか
これまでに連携したことがある女子大 ジェンダーの授業を担当している先生

目標

基点・基軸の形成

課題解決

振り返り

男女共同参画推進意識の形成

現状把握

課題把握・課題共有

課題解決の方策の検討

課題解決のための行動

内容

1) アイスブレイク・自己紹介
2) 講話(1時間)講師1名
・自らのアンコンシャスバイアスがないか
問う→「～でなければいけない」と思っていないか
・女性の社会活躍は経済が伸びる
・計画的偶発性理論の紹介(キャリアに満足している人の特徴について)
・働く権利について 等
変化の時代にいる若者にエールをおくる。キャリアプラン見つめるきっかけをつくる。
3) ミニ講話(40分)
・アサーティブな伝え方について
・自己評価(自信)が低いことと能力が低いことは同じでないこと

個人ワーク(5分)
学生への問いかけ
・今の時点で考えるキャリアは?
・どんな期待がある?
・不安はある?
事前にデータで送付していたシートに箇条書きで書き込む。
その後、どんなキャリアにしたいか(結婚・出産をしても働き続けたい!など)を紙にマーカーで書き出したものを画面上に出してもらおう。→スクショをとり、今後のグループ分けの参考にする。
4) アンケート書込み(5分)

1) 前回の感想共有(3分)
2) グループワーク(25分)
※キャリア志向が似ている人でグループを振り分ける。ブレイクアウトルーム使用。
・アイスブレイク・自己紹介
・1回目で書いた不安や期待を共有
・書き出したことについて話し合う

2) パネリスト対談(1時間)
実際に働いている女性から話を聴く。
コーディネーター1名スピーカー3名(各10分)※選定は重要。すぎすぎない、年上すぎない人へ依頼する。
テーマ「理想と現実。社会に“ある”もので役立ったもの」
○Aさん:働き続けている→くるみん、エルボン取得企業について
○Bさん:夫婦どちらとも育休をとっている(夫婦で何を話したか)
○Cさん:キャリアプランを変更をして、活き活きと活動している人

3) 個人ワーク&グループワーク(25分)
感想、今後自分がどうなりたいか改めて書き出して共有。
4) あすばるの紹介
・福岡県女性の活躍推進ポータルサイトの紹介
5) アンケート書込み(5分)

アンケート(振り返りを兼ねた項目を)
意識して作成

方法

アイスブレイク・自己紹介
講演

個人ワーク

グループワーク
ブレイクアウトルーム

パネリスト対談視聴

講演・個人ワーク・グループワーク

オンライン 1回目

2時間のプログラム

オンライン 2回目

2時間のプログラム